小坂日發總裁 佐々木先生喜壽の祝賀を兼ね 盛會を極む

東京長中會盛大に行わる

東京長中會幹事會は四月五日午後五時から參議院議員會館で左記の如く開催、會長、幹事長、幹事三十三名の人選を行ったのでその旨町田氏から報告あり、滿場一致承認あったので小林次郎氏會長として座長席につき就任の挨拶あって議事に入る。

この時北高校同窓會を代表して上京出席した齋武經幹事は母校高校東京代表幹事には東京長中會幹事中より左記十一名を選任することに決定した。

小林會長は特に小坂武雄氏（北高校同窓會幹事）よりの大學入學率低下に關する具体的パーセンテージを明記せる資料を朗讀して此の不成績の原因は戰後の混亂狀態を座長に於て選考委員十五名の指名を行い、選考委員會は直に別室で協議の結果、左記の如く候補八名、會長、幹事各一名の推薦を極めた。

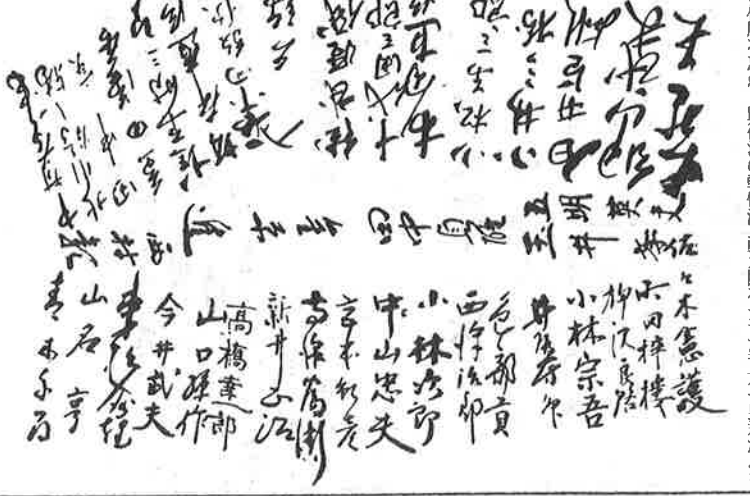
一、定刻世話人小松東三郎君發言、
一、在校生徒參觀後援の件
一、図書館書籍寄贈依賴の件
一、講演會に講師派遣の件
一、北高校同窓會に東京側より幹事選任の件

滿場一致承認あったので小林次郎氏會長として座長席につき就任の挨拶あって議事に入る。

この時北高校同窓會を代表して上京出席した齋武經幹事は母校側の希望として、

一、北高校卒業生の大學入學率不振につき説明と希望意見あり、滿場諒承と賛成するところあり、北高校東京代表幹事には東京長中會幹事中より左記十一名を選任することに決定した。

小林會長は特に小坂武雄氏（北高校同窓會幹事）よりの大學入學率低下に關する具体的パーセンテージを明記せる資料を朗讀して此の不成績の原因は戰後の混亂狀態に原因するとなし、この際全員と積極的指導に乘り出すことの必要性を滿場一致で認め、その爲町田梓樓、柳澤良啓、青木一男、



東京長中會役員名簿

顧問
小坂　順造（支校三回）日發總裁
町田　梓樓（二回）信毎社長
柳澤　良啓（二回）辯護士
村上　俊泰（二回）醫師
太井　包高（三回）
宮原　信英（六回）日發理事
青木　一男（九回）辯護士
笠原　賢造（十二回）千代田ホテル

會長
小林　次郎（十回）辯護士

幹事長
鹽原時三郎（十四回）辯護士、太陽火災海上會長

幹事
神林　美治（十回）醫師
中村孝次郎（十一回）辯護士
近藤謙太郎（十二回）辯護士
十代田三郎（十四回）工博
山名　孚（十五回）教育振興中央會
西村　彰一（十六回）日貿國林社長
小林　周藏（十七回）信濃化學常務
宮本　邦彦（十八回）參議院議員
田中　貞雄（十八回）日東紡取締
細山　武夫（十八回）細山大七商店
宮島　利雄（十九回）石川島重工顧問
村田　直治（二十回）日伯經濟文化協會
坂本　道信（二十回）信濃化學工業
岩下　道爾（二十一回）毎日新聞印刷局長
入　久彌（二十一回）太陽火災海上
小松東三郎（二十二回）北岡化學
花岡　實（二十二回）山一證券常務
大野　大（二十二回）參議院印刷課長
井原　文吉（二十三回）理研鋼材
武井　勲（二十四回）參議院專門委員
浦水　康本（二十四回）文部省管理課長
井上　宗太（二十四回）アサヒビール
桑原　敏雄（二十五回）日本電氣
市川正義（二十六回）參議院資料課長
坂巻　寛一（二十七回）金鵄館會取締
飯島德太郎（二十七回）日本計理士KK
宮坂　完孝（二十八回）參議院參議員部長
笹井　楨壽（二十九回）協榮電氣社長
土生谷幸治（三十回）印刷業
寺田　竹男（三十一回）小池酸素取締
花岡　隆治（三十五回）辯護士
小林　炳（三十六回）畫家
坂部　幸男（三十七回）硫酸化學工業

東京だより

東京の宿舍の問題は相當深刻です。親類知人があればとに角、そうでない場合には相當の出費を覺悟せねばなりません。然し親類知人の家に居ても"肩身の狹い思いをしますが、それは適當に判斷して下さい）

次に下宿料を簡單にお知らせします。

▽東大駒場寮（目黒區駒場）寮費月額百円。三食共外食ですが寮食堂なら一食十二円位です。

▽教育大桐化寮（板橋區常盤台町）二食付月額約一・八〇〇円、一食はパン券ですませますが一食世食堂なら一食十二円位です。

▽教育大桐化寮（板橋區常盤台町）二食付月額約一・八〇〇円、一食はパン券ですませますが一食世食堂なら一食十二円位です。

▽農業寮（中野區）二食付一八〇〇円、長野縣人のみで原則として一部屋一人ですが實際には六疊三人位詰め込まれないとも限りません。

▽農業寮（杉並區高圓寺）二食付一・六六〇円。これも長野縣人のみ

十代田博士講演會

五月二日午後一時より講堂において本校第十四回卒業生、早大教授工學博士十代田三郎氏の講演が

『中學時代はもっと勉強なんてやらなかったんだ』。マア一生のときは、リーダーにもまともにむかったけどネ』

——今の學生をどう思いますか

『幸福だと思うね。なぜって、ハデな事はいやなんだ。實業のほうが好きでね、やっぱりジイドのは……。

『何しろ昨日の學生が、今日の社長さんだろうから。ここから

二箱の寄贈あり。

一、ビールは西村彰一氏の寄贈に成るものである。

一、復活春季總會に至るまでの一切の費用、並に名簿發行費等は鹽原時三郎氏の負擔で出來たものである。

一、北高校同窓會幹事であり、須坂東高校長小山佐吉氏から祝電が參っている。

なお報告事項を一括すませて會務を終り、和氣あいあいの中に小松幹事の「長中會万才」の發聲に一同和して八時過ぎ盛會裡に散會した。

（村田幹事記）

ニュース・スクラップ

ホーム・ルーム

紹學年制を望む

—愛知縣で—

る。その發表は、「西洋のことわざ」「滿州の思出」「カメラの扱い方」「自動車について」など廣範圍に研究を進め、HRを十分活